

平成 8 年度 少年水産教室 開催 （石川市城前小学校）

1. 目的（ねらい）

最近の沿岸漁業等を巡る状況は、就業者の減少と高齢化が進行し漁業生産の担手が脆弱化するとともに、資源状況や漁場環境状況の悪化等により生産が低迷し、漁業・漁村の活力の低下が見られる。従って、これらの問題を地域の実情に即して解決しながら、活力ある漁村社会の形成等を図るため、自らの創意工夫により、産業として自立した魅力ある漁業経営の確立を目指す若い意欲ある人材を育成するとともに、組織活動としての、研究・実践活動グループの活動の推進とそのリーダーの育成等を行ない、もって沿岸漁村地域社会の活性化を図ることを目的とする。

少年水産教室は、その一環として、少年の水産業に関する理解を深めるため、小・中学生を対象とし、啓蒙学習、体験学習等を行なうものである。

2. 教室名

* 『定置網漁業体験学習』

3. 実施対象

* 石川市立城前小学校 4～5年生

4. 日程等内容

* 少年水産教室実施要領参照

平成 8 年度 少年水産教室 実施要領

1. 目的

義務教育過程にある児童生徒を対象に、水産に関する基礎的知識の習得と、伝統ある石川漁協の定置網漁業を体験することによって、地域の漁業を理解させるとともに児童生徒の健全育成を図る目的で少年水産教室を開催する。

- 1) 教室名；定置網漁業体験学習
- 2) 実施対象；石川市立城前小学校 4～5年生
- 3) 開催日時；平成 8 年 9 月 14 日
- 4) 実施場所；金武湾沖
- 5) 実施機関；沖縄県水産業改良普及所

2. 内容及び注意事項

- 1) 定置網漁業の概要と乗船心得等説明
* 漁協研修ホールにおいて、石川市漁協におけ

る定置網漁業の概要及び構造（模型使用）について、説明と講話を行なう。

2) 配船及び乗船心得等

* 生徒は（男女） 隻の漁船に 人づつ乗組んで、定置網の体験学習を行なう。

* 乗船中は、船内を走り回ったり、ふざけた行動はとらないこと。

* 生徒が準備すべきもの

汚れても良い服装で長そでのTシャツ、トレパン、タオル、クツ（雨グツが良い）、帽子、メモ帳、ジャケット（漁協で準備）ゾーリはすべるので危ない。

3) 各船の情報と気象予報等

* 各船は、海況の状況、魚の入網状況、生徒の船酔いの状況、入港の時間などを無線等で情報

交換を行なうこと。

*当日、気象予報で海上波浪注意報（台風情報等）がでたときは、体験学習を延期する。予

報確認は、前日の午後4時までに水産業改良普及所が確認し、漁協と協議し決定する。

3. 定置網漁業体験学習日程表

時間	行程	内容	備考
10:00	石川市漁協集合	定置網漁業の説明及び乗船心得	普及所長
11:00	石川市漁港出発	船長より船内情報（注意事項）	青年漁業士
11:20	定置網設置場所到着	定置網の漁獲状況と網揚げの体験	各船に説明係を配置
12:20	網設置場所より帰路につく		
12:40	石川市漁港入港、漁協にて昼食・意見交換（さしみを囲んで反省会）		
14:00	石川市漁協にて、解散。おつかれさまでした。		

4. 受講料（教材費含む）

無 料

告する。

5. 障害保険料

一人当たり 50円（確認の必要あり）

城前小学校負担

7. 連絡先

沖縄県水産業改良普及所

電話：098-994-4304・FAX：098-992-3142

*教室開始時と終了時は、全員で元気よくあいさつをしましょう。

6. 少年水産教室終了後、感想を作文にして報

参加者名簿及び配船（106ページ参照）

8. その他
- 1) 担任の先生は、出来るだけ参加すること。
 - 2) PTAの参加は、とう載人員等の都合により学級PTA役員とする。

- 3) 保安庁への届出。
- 4) マスコミ等への対応。
- 5) 魚類図鑑・救急箱等準備
- 6) 飲料水（ムギ茶・キーパー等の確保）

* 少年水産教室、協力漁船及び船主（船長）

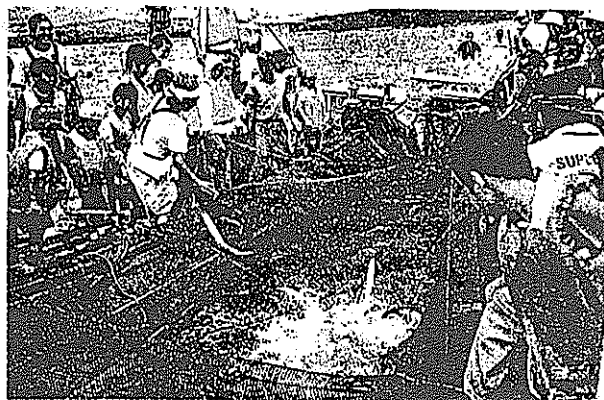
船名	船主	乗船人員	備考
第7美波丸	伊波盛光	27人	体験艇（生徒・教師・水普）
大白鯨	伊敷光則	20人	同上
白鯨	伊波正郎	30人	同上
小白鯨	伊波修		監視艇（PTA役員）
浜崎丸	浜崎三男	3人	監視艇（関係者）

- 嘉手納支局
☎098 (956) 2600
F098 (956) 8973
- 宜野湾支局
☎098 (897) 6123
F098 (897) 0826
- 与那原支局
☎098 (946) 2141
F098 (946) 5295

市町村

- 糸満支局
☎098 (992) 2176
F098 (992) 1509
- 宮古支局
☎09807 (2) 2034
F09807 (3) 0894
- 八重山支局
☎09808 (2) 2104
F09808 (4) 1107

漁船で両側からほらほらと引いて定置網を引き揚げる子供たち（金武海岸）



【石川】漁村少年水産教室「城前小の児童やPTAら約80人が参加した。室（全羅・県水産課改修）及び所、協力・市漁業協同組合がこのほど、石川漁港や磯で自主した魅力と金武湾で実施され、市立ある漁業の確立を目指す

定置網漁に挑戦

漁村少年水産教室で80人

石川

「石川」漁村少年水産教室「城前小の児童やPTAら約80人が参加した。室（全羅・県水産課改修）及び所、協力・市漁業協同組合がこのほど、石川漁港や磯で自主した魅力と金武湾で実施され、市立ある漁業の確立を目指す

す若い意欲ある人材育成など目的。久員・成同普及所所長、上間秀正市漁協組長が定置網や漁業権などについて説明した後、市漁協の定置網グループ（伊波正郎代表）3隻の漁船に分乗して金武湾の定置網の設置場所へ向かった。

定置網漁業は障害物にぶつかるとそれに沿って沖側へ移動する魚の習性を利用して、幅干し、高さ十二メートルの大型定置網に到達すると、両側から船でほらほらと引いて引き揚げた。魚がはねると「ギャー」と歓声が上がった。

この日はカマクラのあじ、クルマエビなど十四種類約三百点が水揚げされた。陸上からは漁協婦人部が捕れた魚で作った魚汁、さしみをあけしきりに食べた。参加した子供たちからは「ウミンチュの誇りが分かった」「初めての体験で感動した」などの感想が聞かれた。

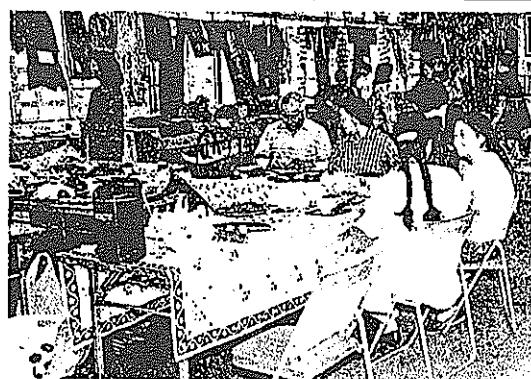
初の文化展 盛況

手工芸品や生け花3百点

【真志川】平良川婦人会「手にする手工芸品生け花」主催の「平良川ふれあい」絵画など約三百点が所狭した。二文化展「が」十三日、同と展示され、訪れた人たちの目を楽しませた。

会場には婦人会のメンバーが一品ずつ持ち寄ったお菓子や料理などが用意され、参観者に振る舞われた。

平良川婦人会



約300点の作品が集まった平良川ミニ文化展＝平良川公民館

「この中から一人でも多くの漁師の卵が育ちたい」と話していた。

同 意 書

学校名：
氏 名：

上の者、平成8年度少年水産教室（定置網漁業体験学習）に参加させることを同意いたします。

平成8年 月 日
保護者又は保証人
氏 名

沖縄県水産業改良普及所
所長 久 貝 一 成 殿
石川市立城前小学校
校長 伊 波 弘 彌 殿

定置あみ体験学習に参加して

5年 石川 拓矢

9月14日に、ぼくは、定置あみ漁に参加しました。約70人の参加者で、みんな一緒に大きな船に乗ると思いましたが、思ったより小さな船だったので、ちょっと残念でした。

船に乗るのは、久しぶりでした。定置あみをしかけた場所に近づくと、ぼくは、たくさんの魚がいるときたいしてましたが、少なかったのがっかりしました。船長さんが言うには、ふだんは、この三倍はとれるそうです。とれた魚の種類は、スマ、オニヒラアジ、グルクマ、タチウオ、ヤマトミズン、イトヒキアジ、メアジ、

コトヒキ、サワラ、ネツタイヒイラギ、ホウセキキントキ、ミカツキツバメウオ、アカヒメジ、トカゲエソの以上14種だそうです。ぼくがわかるのは、グルクマとタチウオだけでした。魚がとれるとすごいなぁと思った。大きい魚もさわったりしました。漁港に着いたときは、ちょっと気分がよくなかったですが、おばさん達の作った魚料理を食べたらおいしかったので元気になりました。

定置あみに参加して、いろいろ魚の名前がわかった。

定置あみ体験学習をやって

5年 伊波 あゆみ

私は、定置あみ体験学習をやって、本当に良かったなと思いました。夏休みの時は、やるうとも思いませんでした。でも、もう一度やってみない？と来た時は、なやみました。友達か、やるう！とさそったので、やってみるか。と思い申しこみました。

当日、友達三人と私で石川漁港に行きました。ついた時は、九時半ちょうどでした。

まず始めに、石川漁港で働くおじさんから話がありました。私は、早くしないかなと思いつムズムズしていました。でも私は、船よいをするので心配をしていました。すると「船よいをする人手を挙げて下さい。薬をあげますので。」と言ったので、手を挙げました。それからまた30分間の話をしました。私の乗る船は、大白鯨と言う船でした。

出発の時、「早く、早く。」と思いました。船にのって、きれいな海を見ながら約30分間ゆ

っくり海を進んで行きました。定置あみのしかけてある場所につきました。光るものが出て、はねるものもいました。定置あみをひっぱり上げると、魚がはね、あみですくうと、動き、水しぶきを上げました。私は、なんとその時だけで、10枚ぐらゐを写真で写してしまいました。かごに入れたあと、また魚を持って5枚ぐらゐ写しました。私はその時、とってもうれしくて、こうふんしていたと思います。船を白鯨と言う船に乗りかえて、石川の漁港へ向かいました。

と中で、船長が船の運てんを、きょかしたので、船のうんてんをしました。重くて、動かしにくかったです。港につくと、さしみと魚のおすい物を飲みました。とてもおいしかったです。

今日は、一生に、たぶん一度しかない経験をしたと思います。

てい ち あ み を 体 験 し て

5年 サンチェス 弘樹

ぼくたちは、水産業改良普及所の協力で、てい ち あ み で 魚 を と り に 行 き ま し た 。 三 そ う の 船 で 20 人 ず つ で 別 れ て 行 き ま し た 。

ぼくたちが乗った船は、第七美波丸でした。行くときに、とてもワクワクしていました。

港から出た時には、みんなうれしそうな顔をしていましたが、とちゅうで、気分が悪くなった人も出てきました。30分くらい行くと、てい ち あ み の 場 所 に つ き ま し た 。 あ み の し か け の 長 さ は 、 24 m も あ り ま し た 。 船 を 近 づ け た あ と 、 全 て 、 い っ し ょ う け ん め い 引 っ ぱ り ま し た 。 各 種 の 魚 が と れ ま し た 。

体の長い魚や、赤い色をした魚、またハブクラゲなど、全部で14種類いました。おじさん

たちは、「今日は、思ったよりも少ないね。」と言っていました。そして、帰りに船長さんに、船をうんでんさせてもらいました。

多ぜいの人に乗った船をぼくが、うんでんしたのは、とても気持ちがよかったです。

港についた時には、おばさんたちが、食事を作って待っていてくれました。ぼくは、おにぎりとかニの汁を食べました。ぼくたちが、つかまえた魚のさしみもできました。

いつものさしみより、100倍サイコーにおいしかったです。今日の体験で、漁師さんたちがどういうふう

に魚をとるかがわかりました。今日は、とってもいい体験をしたなっと思

定 置 網 漁 業 体 験 学 習 に つ い て

6年 仲 田 玲 衣

9月14日、本当は、夏休みに予定されていた、定置網漁業体験学習に行った。

オリエンテーションを終え、船にのった。3組にわかれており、私は、その一隻、白鯨のりしました。今回の定置網の大きさは、長さ20m、幅50m、高さ24mの落とし網で定置漁業権6号の網だそうで、定置されている場所は、金武湾の伊芸地区の沖で、漁獲される魚は70種類ぐらいだそうです。

漁船は、定置船2隻と、小さいボート1隻で、3人共同で定置網漁業を営んでいるそうです。

私が、この体験学習に参加して一番思ったことは、私は、この学習中に、足にブツブツがいついできてとてもいたかったです。でも、漁師さん達は、こんな事しょっちゅうだと思

ど、そんな事かまわず、一生懸命がんばっていることでした。私だったら、一週間でばすどぐらいです。

そして、網が引き出されました。その中には、小さい魚、中ぐらいの魚、大きな魚、クラゲなどがとれていました。みんな「ビチビチ」「バチバチ」と飛びはねとても元気でした。

その後、みんなで、おさしみとおつゆとおにぎりを食べて反省会をしました。

漁師さんや、司会をしていたおじさん、みんなとてもいい人ばかりでした。

今日一日をふりかえてみて、小学校生活6年間で、とてもいい思い出になれたと思います。

石川市漁業組合のみなさん本当にありがとうございました。

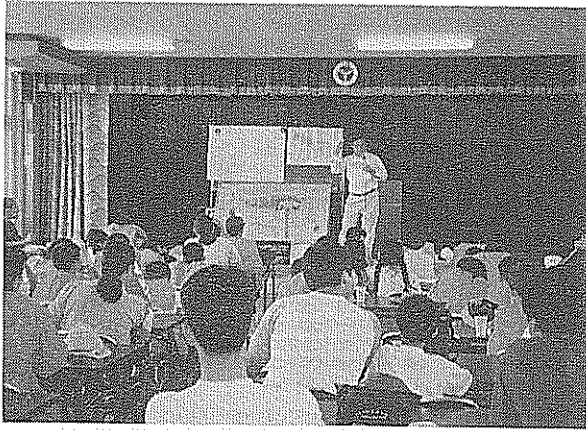
乗 船 割 当 て 表

石川市立城前小学校

船 名	船 長 名	生 徒 氏 名	住 所	電 話	監 査 役		
第7美波丸	伊 波 盛 光	上 新 石 手 上 伊 石 町 伊 伊 伊 伊 佐 伊	地 垣 川 根 地 波 川 田 味 波 波 波 田 波	垂 若 春 里 あ 繁 大 智 祐 広 光 盛	沙 菜 孝 輝 沙 み 祐 朗 智 也 樹 樹 弘 博	金城 宏 市役所 伊波係長 久員所長	
		伊 石 神	波 川 原	裕 拓 功	石川市石川 2845-6	965-7150	多和田真周 平手康一
		サ ン チ ャ ャ ス	翼 子 吾 行 人 貴 哉 矢 恵 衣	弘 樹	" " 319	965-4383	
		石 川 仲 宗 具 志 久	陽 祥 広 将 将 将 久 玲	川 根 堅 高	" " 2630-1	965-2584	
		川 城 田	川 根 堅 高	川 根 堅 高	" " 373	965-0256	
		川 城 田	川 根 堅 高	川 根 堅 高	" " 2845-6	965-5174	
		川 城 田	川 根 堅 高	川 根 堅 高	白 浜 2-9-14	965-3457	
		川 城 田	川 根 堅 高	川 根 堅 高	石 川 409	965-5477	
		川 城 田	川 根 堅 高	川 根 堅 高	" " 1871-21	965-4461	
		川 城 田	川 根 堅 高	川 根 堅 高	" " 417-1	964-5644	
		川 城 田	川 根 堅 高	川 根 堅 高	" " 1900-1	965-1613	
		川 城 田	川 根 堅 高	川 根 堅 高	" " 2821-3	965-5196	
		川 城 田	川 根 堅 高	川 根 堅 高	" " 2753-3	965-5118	
		川 城 田	川 根 堅 高	川 根 堅 高	" " 404-1	964-6539	
		川 城 田	川 根 堅 高	川 根 堅 高	" " 342	965-1137	
大 白 鯨	伊 敷 光 男	伊 石 神	波 川 原	裕 拓 功	石川市石川 335	965-3628	
		サ ン チ ャ ャ ス	翼 子 吾 行 人 貴 哉 矢 恵 衣	弘 樹	" " 300	965-2060	
		石 川 仲 宗 具 志 久	陽 祥 広 将 将 将 久 玲	川 根 堅 高	" " 1869	965-0557	
		川 城 田	川 根 堅 高	川 根 堅 高	東 恩 納 420-5	964-2517	
		川 城 田	川 根 堅 高	川 根 堅 高	" "	"	
		川 城 田	川 根 堅 高	川 根 堅 高	" " 2834-2	965-2101	
		川 城 田	川 根 堅 高	川 根 堅 高	石 川 258	965-6268	
		川 城 田	川 根 堅 高	川 根 堅 高	" " 1913-6	965-0291	
		川 城 田	川 根 堅 高	川 根 堅 高	" " 276	965-0924	
		川 城 田	川 根 堅 高	川 根 堅 高	" "	"	
		川 城 田	川 根 堅 高	川 根 堅 高	" "	"	
		川 城 田	川 根 堅 高	川 根 堅 高	" " 300	965-2060	
		川 城 田	川 根 堅 高	川 根 堅 高	" " 353	965-0016	
		川 城 田	川 根 堅 高	川 根 堅 高	" " 1875	965-1288	

船名	船長名	生徒名	住	所	電話	監査役
白鯨	伊波正朗	伊波	石川市石川246		965-3496	奥原哲夫 近藤忍 瀬底正武
		名	"	"	9	
		大	"	"	2835-1	
		福	"	"	246	
		開	"	白浜2-4-20	965-3496	
		"	"	石川324-1	964-3960	
		平	"	"	965-5560	
		宿	"	"	"	
		知	"	"	958-0435	
		"	"	"	965-0920	
第7美波丸	伊波盛光	伊波	石川市石川400		965-3453	金城宏 市役所 伊波係長 久貝所長
		伊	"	"	"	
		名	石川市石川400		964-2086	
		宮	"	"	964-3496	
		比	"	"	964-2086	
		伊	"	"	965-0016	
		波	"	"	964-2086	
		波	"	"	965-3028	
		護	"	"	"	
		城	"	"	"	
大白鯨	伊敷光男	吉利	石川市石川400		964-2086	多和田真周 平手康市
		安	"	"	965-1275	
		根	"	1914-2	964-4412	
		川	"	243	964-2086	
		良	"	400	965-0841	
		智	"	409	964-2086	
		子	"	400	"	
		真	"	"	"	
		子	"	"	"	
		真	"	"	"	
白鯨	伊波正朗	正	石川市石川1869		965-0557	奥原哲夫 近藤忍 瀬底正武
		エ	"	"	964-2086	
		繁	"	400	965-4461	
		宗	"	1871-21	964-2517	
		サ	"	東恩納420-5	"	

平成8年度少年水産教室開催スナップ



(1) 定置網漁業のあらましについて、
久貝所長の講話



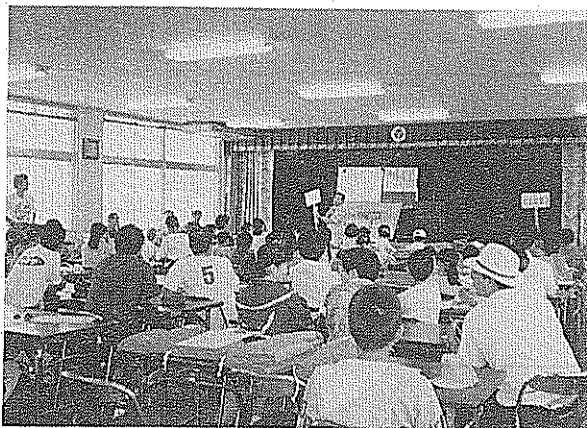
(4) 乗船後石川漁港を出発



(2) 石川市漁協、上間組合長より
激励のあいさつ



(5) ジャケット姿の生徒たち、船酔いの
心配か不安げ



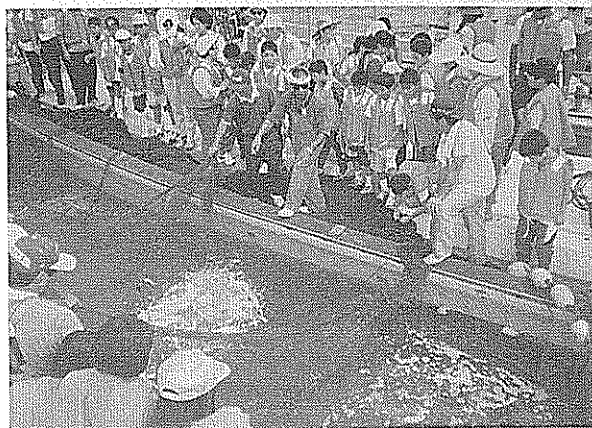
(3) 乗船開始前の配船について、説明



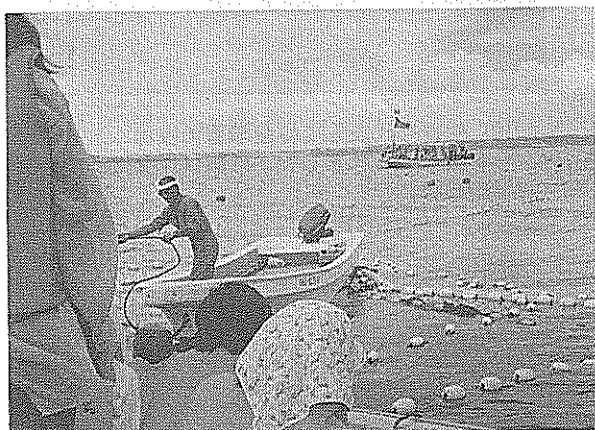
(6) 30分後、現場へ到着。大漁旗が
目につく、獲物は。



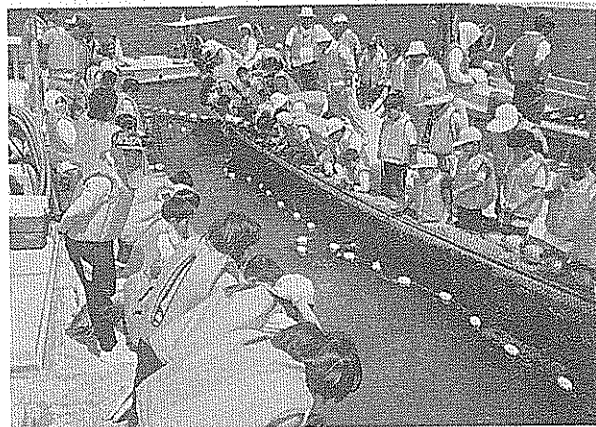
(7) 一番乗りの作業船は網寄せの作業にかかる。



(10) 網が絞られ、袋網を揚げる所銀鱗舞う魚を見て、生徒達は歓声をあげる。



(8) ベテランの船頭が手際よく、網を絞る。



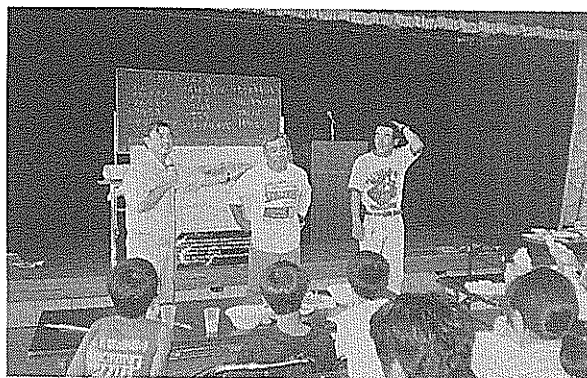
(11) 生徒達もヨイショ、ヨイショと網揚げの体験。その瞬間、生徒達は何を感じたのだろうか？



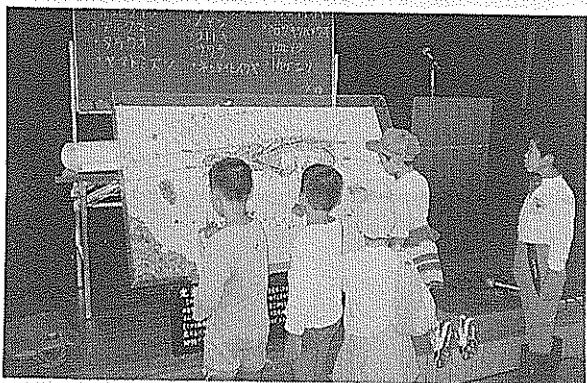
(9) 生徒達は、漁師の仕事ぶりをしっかりと見つめている。



(12) 現場で、1時間体験後、帰路につく。ご苦労さんでした。



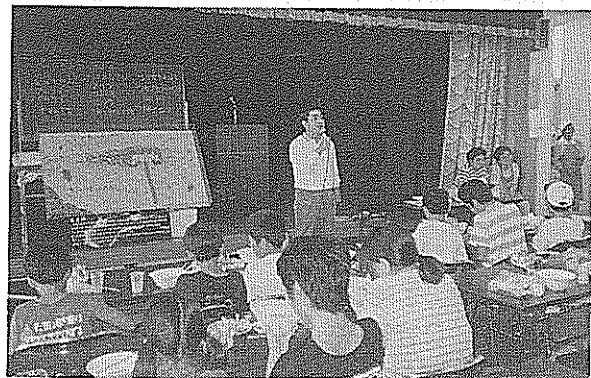
(13) 体験学習終了後、魚汁を囲んで反省会、伊波青年部長、島袋青年漁業士に学習の成果を聞く。



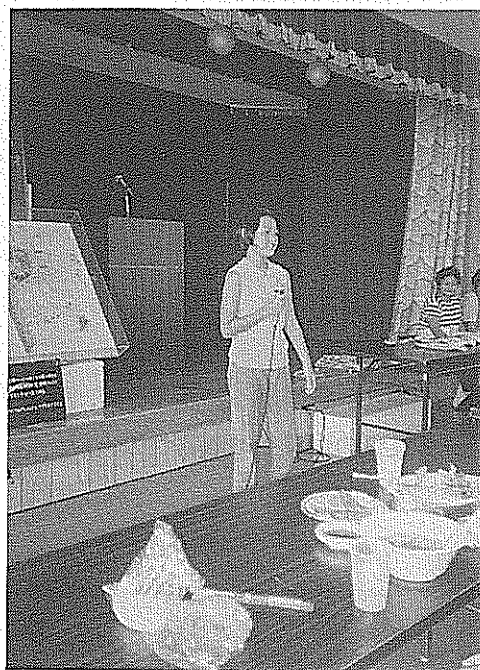
(14) 定置網で捕れた魚の種類を近藤普及員が紹介。14種類の魚が記録された。



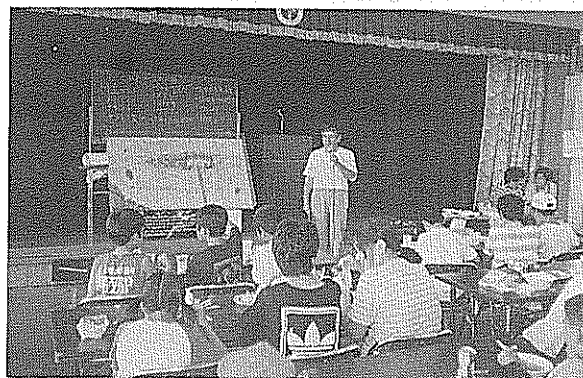
(15) チョット船酔い気味ではあったが、全員無事に体験学習を終えた。おばさん達が作った魚汁大変美味しかったようです。



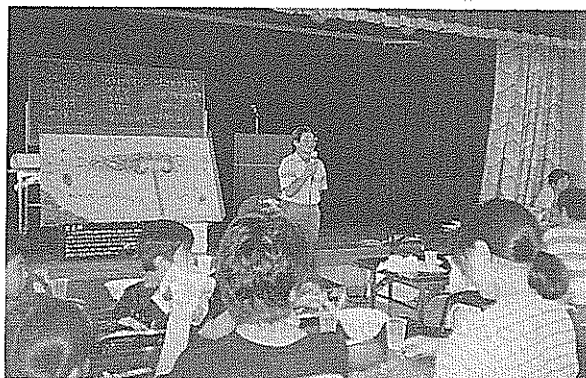
(18) P T A 会長からお礼のご挨拶



(16) 生徒を代表して体験学習の様様を話してくれました。詳細は作文を参照。



(17) 校長先生からのご挨拶



(19) 最後に、石川市漁協参事から閉会のご挨拶があり、少年水産教室の全日程を終了した。関係者の皆様、暑い中大変ご苦労さまでした。